



# 南十字星



## 2022年度 第11号

令和5年3月24日

クイーンズランド補習授業校

ゴールドコースト校

校長 直塚 裕典

E-mail: jschoolgc@jsgc.org.au

### 一年間のご協力・ご支援に感謝申し上げます！



先週、保護者の皆様のご協力のおかげで、卒業式を終えることができました。幼稚部から入学された人は10年間、またはそれぞれのご入学時から今日までいろいろな思い出が走馬灯のようによみがえってきたのではないかと推察いたします。保護者の皆様は、毎週土曜日に子ども達を様々な葛藤の中で補習校に送り出されたことだと思います。卒業の日を迎えて、立派に成長したお子さんの姿を見てすべてが報われたのではないのでしょうか。

さて、保護者の皆様には、この一年間支えていただきながら、修了式を終えることが出来ることに感謝申し上げます。来年度も先生方としっかりスクラムを組んで頑張りますので、引き続きよろしくお願い致します。

### 卒業式での在校生からの送辞 ～在校生代表 菊地 夏生くん～



空が高く澄みわたり、気持ちのいい秋風が吹き渡るころとなりました。本日、晴れてクイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

幼稚部の皆さん、幼稚部での一年はどうでしたか？補習校祭りでは、晶子先生の指揮をよく見て「えんとつ町のプペル」の楽器演奏をととても上手にしていましたね。来月からは小学部一年生として新たな旅が始まります。これからもたくさんの友達を作り、お勉強もがんばってくださいね。

六年生の皆さん、小学校の六年間はどうでしたか？楽しかったこと、つらかったこと、嬉しかったこと、色々あったことでしょう。そんな中、頑張って補習校に通い続け、この日を迎えられている自分を誇りに思ってくださいね。これから中学部の仲間入りをする皆さん、一緒に補習校をさらにいい学校にしていきましょうね。小学生たちの良い見本になり、一人一人が魅力ある先輩たちに育っていくのを楽しみにしています。

そして、中学三年生の皆さん、この一年間、補習校の最上級生として、この補習校を盛り上げてくださったことに心より感謝を申し上げます。今年の中学三年生のクラスは、人数の少ないクラスでした。休み時間みんなで仲良く話をしていたり、行事の時には、リーダーだけに任せるのではなく、全員が協力して取り組んでいる姿を見て、すごいなと感じました。特に運動会の応援合戦では、下級生の心をついにし、上手にリードする先輩の姿が目焼き付いています。補習校祭りでは、「三匹の子ぶた」の模擬裁判で会場を沸かせてくれました。一人一人が活躍していた先輩方はいつまでも僕たちの憧れです。先輩達から受け継いだ熱意をもって、僕たちの学年は人数が多いからこそできることを目指していきたいと思います。そして、補習校の良き伝統を守っていきます。先輩方も、それぞれの輝く未来に向かって羽ばたいていってください。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご活躍とご健康をお祈りし、送辞といたします。

令和5年3月18日

在校生代表 中学部 2年 菊地 夏生



## 卒業式での卒業生からの答辞 ～卒業生代表 阿部 流暖さん～



真夏の暑さも和らぎ風の中にも秋の気配を感じる季節となりました。

本日は、私たち卒業生のために、このような晴れやかな卒業式を挙げていただき心より感謝いたします。

校長先生はじめ、先生方、ご来賓の皆様、保護者の皆様、在校生の皆様に見守られ、旅立ちの日を迎えること、とても嬉しく思います。

毎年、卒業式で見る先輩方は私の憧れの存在でした。

今まで、たくさんの宿題や、現地校との両立で「頑張らなくてはいけないのに」と弱音を吐くこともありました。でも、卒業式でみる先輩方の姿は、この日までやり遂げた自信に満ち溢れ、輝いて見えました。「私もいつかあんな風になりたい」と気持ちが新たになり、頑張ろうと前向きになりました。

中3になった時、私は勉強もイベントも全力を出し切ろうと決め、運動会の団長に立候補しました。私たちのクラスは、人数が少なく、赤組3人、白組4人。この人数で、学校全体をリードできるのか正直不安でした。覚えやすいダンスを考え、限られた時間内でどうやったら伝えられるか、チームで何度も話し合いました。

運動会当日、私は赤組の皆さん全員に向かい合う形でダンスをしていました。チームが一体になって力いっぱい腕を振り上げ、大きな声を出し、ダンスと応援合戦をしている姿を今でも鮮明に思い出します。中3だけの頑張りでは、あの感動を作り上げることは出来ませんでした。学校全体が一致団結するからこそ素晴らしい運動会ができるんだということに気がつきました。運動会後の作文で、中2の方が「来年は中3の先輩のようになりたい」と書いてくれていたと先生から聞いた時、本当に嬉しくなりました。そして、私たちはみんなの頑張りのおかげで「憧れの先輩」として成長させてもらっているのだと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。最高学年として、補習校をリードしていきたいという思いもさらに強くなりました。

自分たちで考えて実行すること、クラスメイトと助け合い、それぞれが得意なことを発揮し、お互いを尊敬すること、チームワークを大切に、感謝の気持ちを持つこと。補習校の素晴らしいところは日本語の勉強だけでなく、日本人の心を持てるように成長していける場所だと思います。

卒業後は、それぞれ歩む道が違いますが、私たち卒業生が輝きを忘れず、いつまでも憧れの先輩として活躍して行くことが補習校への恩返しになるのではないかなと思うとともに、補習校こそが私達にとってずっと輝いている場所であってほしいです。

最後となりましたが、補習校を支えてくださったすべての皆様に感謝を申し上げ、補習校の更なる繁栄を祈って答辞といたします。

令和5年3月18日

卒業生代表 中学部3年 阿部 流暖



### 【卒業式の様子より】





みなさんの思いが伝わる卒業式でした。今後、みなさんにどんな世界が待っているのでしょうか。きっとどんな世界であろうと、みなさんならこの補習校で学んだことが必ず生かされ、それぞれの道を切り開いてくれると信じています。私は、このゴールドコースト校を愛するあたたかさをみなさんからたくさん教えていただきました。みなさんの補習校卒業を心からお祝します。ありがとうございます！

### 卒業を前に ～中学3年生からのメッセージ～

感謝

級卒業

#### 【中学部3年 井ノ本 幸大くん】

僕は六年生の時にオーストラリアに来ました。英語の本と日本の友達からの手紙をもってどんなところかとワクワクしながらオーストラリアに来たのはいいもの、すぐに英語はしゃべれないもので苦戦していました。そんな時、この補習校に出会いました。オーストラリアに来たての私はここで日本語を話すことができました。英語がなかなかしゃべれず困っていた時にこの補習校が僕の気を楽しませてくれたのです。

私はこの補習校でたくさんのいい思い出をもらいました。

他の卒業生がみんな感じる達成感というものを私も感じる事ができました。何の迷いもなく入れた中学部、そこではこの補習校を支えるという大変な仕事を任せられました。中一の時は何となく頑張っていたものが今ではこんなにも頑張れていると思うと驚きを隠せません。それもこれも一緒に歩んできた仲間たちと一緒に過ごしてきた大人たちのおかげです。六年生の時十人十一脚をやりました。その後、補習校キャンプで八人九脚をやった時、その時の中三にぼろ負けしました。そして中三になり運動会で七人八脚で走り抜けたときみんなは‘笑って’いました。その時、走っていた記憶はほとんどないです。こんなに楽しかったのは初めてなんじゃないでしょうか。あの笑顔が私を毎日元気づけてくれます。

キャンプの時中三に負けた理由、それはあの時僕らはまだ八人九脚ではなかったのかもしれませんが。中三になって本当の七人八脚になれたことで、中三のみんながあんなにも輝いていたのですね。そして僕はこれを受け継いでいってほしいと思います。僕らがなれた七人八脚、みんなもできるはずですよ。僕らの‘輝’という言葉も一緒に受け継いでください。この学校の校歌、‘輝く未来へ’とともに。僕もこれを胸にこれから何人何脚になろうとも頑張っていきたいと思います。皆さん本当にありがとうございました。

#### 【中学部3年 サウンダース 愛莉さん】

6歳から補習校に通い9年経った今、私は卒業を迎えました。毎週補習校に通うのは簡単なことではありませんでした。実際にやめたいと思ったことが何度もありました。しかし今、ここに立ち、振り返ってみるとたくさんの楽しかったこと、大変だったこと、悔しかったことが思い出されます。

運動会のダンスを残って覚え、声を張り上げての声援、補習校祭りで売れ残りを出さないよう知恵を絞った結果すぐに売り切れてしまったこと、百人一首で一番だったのに失格になったことなど私は今やり遂げたという喜びの気持ちです。補習校のみんながいなければ、私はこの卒業式にいなかったでしょう。

学校生活を助け、今ここに立つことができる、それを実現させてくれたすべての先生に感謝の気持ちとごめんなさいの気持ちでいっぱいです。私の様な生徒を教えることはいつも簡単なことではなかったでしょう、しかしその難しさをもものともせず、教育を与え、個性を尊重してくれましたね。

在学生の皆さん、補習校はいつも簡単、楽しいではありません、大変な時、めんどくさい時もあります。でも「ここに約束します」、あなたたちが卒業というこの場に立った時、補習校で得た友情と思い出は何物にも代えがたいものとなっているはず。嘘だと思ってもいいかもしれません、嘘か本当かを確かめるために卒業まで残ってみてください。

お父さん、お母さん補習校に行かせてくれてありがとう。良い態度でなかった時もあったよね、でもあなたの努力は実ったよ、子供の将来を大きく広げてくれました。

そしてクラスみんな、いつもお互いを助け合い支えあったよね。あなたがいたから私がいた。私がいたからあなたがいた。みんな一番でみんな大切な仲間。

### 【中学部3年 リード 海くん】

私たち卒業生にとって、この補習校での9年間または10年間、もしくは数年間は思い出でいっぱいです。初めて会った仲間と入学式でこのネアンシアターに入った時は緊張感でいっぱいだったことを思い出します。仲間と共に日本語で勉強し、学校行事を経験するごとに仲間との絆や友情も深まりました。中学3年生の運動会と補習校祭りでは、自分たちが中心となり、アイデアを出し合って活動しました。途中で、もう上手くいかないのではという挫折感も味わいましたが、最後は全校生徒で創り上げたという満足感でいっぱいでした。

在校生に皆さんとは、運動会で一緒に応援したり、朝礼や補習校祭りでみんなで校歌を歌ったことが心に残っています。これからもこの補習校の伝統を受け継いでいってください。

私達9名の卒業生はこの補習校で学んだことを活かして、自分の力で大きく羽ばたいていきます。野球のイチロー選手が引退した時に「後悔などあろうはずがない」という言葉を言いましたが、私達はこの補習校生活に後悔などあろうはずがありません。本当に充実していました。最後になりましたが、学校生活を支えてくださった全ての方に改めて感謝申し上げます。そして、これからも私達を見守り、ご指導よろしくお願い申し上げます。

### 【**第1回「達人に学ぶ」講演会：2月25日**】

昨年度はコロナの影響で実施できませんでしたが、今年度はブリスベン補習授業校卒業生の栗田 瞳志(くりた とうし)さんに来ていただきました。「達人に学ぶ」講演会は、子ども達の将来の生き方につながる企画になればと思います、スタートしました。それでは、栗田さんの主なプロフィールを紹介します。

- ・2016年(11歳) 100m(金)・200m・円盤投げ・砲丸投げ QLD大会出場
- ・2022年(17歳) 100m(金)・200m(銀) オーストラリア代表 オセアニア大会出場  
ラグビー7s(セブンス・7人制ラグビー)オーストラリア代表に選ばれる

◎子ども達からの質問がたくさんありました。一部紹介します。

- ①金メダルを何個もらいましたか？→たくさんもらいました。
- ②ラグビーをやめようと思ったことはありますか？→ラグビーも陸上も大変だったこともあったけどやめようと思ったことはありません。
- ③100メートルは何秒で走りますか？→10秒5?
- ④オリンピックを目指していますか？→これからフランスに行くのですがすぐには行けませんが、いつかオーストラリアに戻り代表になって行きたいです。



## 全校朝会のスピーチから

中学部2年 石井 蓮さん

「みんな違ってみんないい」

あなたは自分がみんなと違うと思ったことはありませんか？

これは、「私と小鳥とスズと」という金子みすゞさんが書いた詩の一節です。

「私が両手を広げても、お空はちっとも飛べないが、飛べる鳥は地べたを早く走れない。」と詩が始まります。これは、比べてしまえばみんな色々な個性があり、違う存在だと伝えていています。例えば皆さんの中で「あ あだったらいいな。」「あの人みたいに～だったらよかったな。」と思ったことはありませんか？

あなたには簡単にできることでも他の人には難しいこともあるかも知れません。自分では普通にできることは、もしかしたら、あなたの得意なことでもあるのです。

詩は、さらに「私が体をゆすっても、綺麗な音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のように たくさんの歌は知らないよ。」と続きます。

ここでは、個人個人みんな違うということは、自分にしかできない事があるということです。

「違うことは悪いことじゃない」と教えているのではないのでしょうか？

最後にみすゞさんは、「鈴と、小鳥と、それから私、みんな違ってみんないい。」と書きました。この補習校のみんなも十人十色の個性があって好きなことが違ったり得意なことが違ったりしますよね。私たちは、一人一人違うからこそ様々な出会いやつながりができるのです。

最後に少しお知らせがあります。

今日はラッキージェイのコンサートがあります。

個性豊かなメンバーがいろんな楽器を楽しく演奏します。

皆さんぜひ見に来てください。

聞いてくれてありがとうございました。



『ちょっと一言』全校朝会では、中学2年生のスピーチとなりました。中学3年生からのバトンが引き継がれています。中学3年生への「あこがれ」を求めて、堂々とスピーチができました。とてもいいバトン渡しができています。

## 【「第43回海外子女文芸作品コンクール」短歌部門特選 ～おめでとうございます～】

中学部2年の神門 凜音さんが、短歌部門で見事「特選」に選ばれました。

全校朝会の表彰式では、子ども達から大きな拍手がありました。

「おめでとうございます！」

～短歌の作品です～

雨上がり空に掛かった虹を見にカンガルー達 広場に集まる



## <来年度の始業式・入学式の案内>

1. 始業式 令和5年4月15日(土) 8時45分までに新幼稚部・新1年生も登校します。
2. 入学式 令和5年4月22日(土) 10時30分から11時15分までネアンシアターにて行います。保護者の方の受付時間は、10時からです。  
※詳細については、後日連絡いたします。
3. 4月15日のお知らせ  
○新幼稚部・新1年生も、朝8時45分までに登校します。当日は新しい教科書を配付します。教科書を入れる大きめのバッグをご用意ください。  
特に中1は冊数が多くて重いですのでご注意ください。



### 【補習校事務からのお知らせ】

補習校事務のお休みについて、ご連絡します。

2023年3月29日(水)、31日(金)はお休みになりますので、よろしくお願ひします。

